

現地で行う森の工作

里山整備をすると多くの木を伐採することになります。その木どうしてありますか？十分に活用できていますか。木を持ち出すことは大変で、そのまま放置することになってしまうこともよくあります。

伐倒した木を現地で有効活用する。そんな手法を楽しみながら学びましょう。

と き 2019年3月10日(日) 9時~12時30分
雨天の場合 3月17日に延期します

ところ 南部丘陵公園 南ゾーン里山整備エリア 集合 下記駐車場

定員 20名(16歳以上) 応募多数の場合は、抽選、当選者のみ連絡

申し込み期限 3月3日(日)まで

内容 現地で伐倒してある木を使って、その場に設置できるベンチやテーブルを作ってみます。

講師 いなべ自然楽校 出口省吾さん



参加をご希望の方は、

はがきかFAX、Eメールにて、
代表者の住所、名前、電話番号、参加者全員の
名前を記載し、四日市公害と環境未来館
「現地工作」係まで

送付先：510-0075

四日市市安島一丁目3番16号
四日市公害と環境未来館「現地工作」係
FAX：059-329-5192

Email:

kougai-kankyomirai@city.yokkaichi.mie.jp

その他 服装は、里山作業ができる服装で
お越してください。

この講座は、四日市公害と環境未来館のエコパートナー事業として実施します。

【企画・運営 四日市自然保護推進委員会 里山保全グループ】

問い合わせ先 四日市公害と環境未来館 059-354-8065